

vol.5

Quarterly Report

四半期活動レポート(2021年10月-12月)

Fukuoka
Smart City
Community

CONTENTS

四半期活動レポート（2021年10月-12月）

P. 01 > **Fukuoka Smart City Communityについて**

P. 02 > **進捗のご報告**

**FUKUOKA SMART CITY AWARD
大学生向けアイデアアワード**

P. 03 > ▶ **FUKUOKA SMART CITY AWARDの流れ**
▶ **グランプリアイデアについて**

P. 04 > ▶ **その他のファイナリストアイデア**

P. 05 > **その他の共創プロジェクト**

■ **「マリンワールド海の中道」内レストラン「レイリー」の
「LINEで順番待ち」サービス**

P. 06 > **定例での活動について**

▶ **全体会議（毎月1回）**
▶ **「プロジェクトF」**



Fukuoka Smart City Community

Fukuoka Smart City Community について

強固な協力体制で自然災害や感染症への対応レベルとスピードを上げ、
レジリエンスの高いまちを実現する

「Fukuoka Smart City Community (以下 FSC)」は2020年10月、LINE Fukuoka株式会社を発起人とし、福岡を代表する 異業種9社で協働、福岡市をオブザーバーに迎えた共同事業体として発足しました。この共同事業体を通して、福岡市を、行政・市民・企業の枠組みに捉われず、解決したい人・解決できる人が互いに協力し合って速やかに問題解決する、「日本で最も課題解決の早い、スマートシティ」へと変化させ、「100年先でも、選ばれるまち、Fukuoka」を目指しています。



※福岡市はオブザーバーとして参画

大テーマ	中テーマ	小テーマ ※
市民と共に行う、 レジリエンスの高い まちづくり	感染症流行下での変化に しなやかに対応できるまち	● 飲食店支援（継続） ● 上記以外のテーマでの支援
	自然災害に素早く対応、 復興できるまち	自然災害への 事前・最中・事後対応

※その他、福岡市民の課題解決に資すること

福岡市を含む九州地域では、近年、地震や台風による災害被害が続いています。また、感染症の流行は、市民の行動や意識も大きく変えるきっかけとなりました。我々会員企業は、そうしたその時々が発生する市民の課題を、個々の企業や団体同士での協業以上にスピード感を持って解決することを目指し、共同事業体を通して各施策の検討と実施を進めています。

進捗のご報告

FSCは2021年10月14日で発足1周年を迎えました。

2年目は、組織の行動指針である「市民の課題を解決する」「自治体/企業/市民のセクショナリズムを超える」「スピード重視でアウトプットする」をより具体的な行動で示して参ります。

FUKUOKA SMART CITY AWARD 大学生向けアイデアアワード



■「市民と一緒に創る、レジリエンスが高いまち福岡」を具現化するプロジェクト

会員企業 8社で協業し、2021年7月30日より募集を開始した大学生向けアイデアアワード「FUKUOKA SMART CITY AWARD」は、福岡の未来を担う大学生から福岡のまちをより良くするためのアイデアを募集し、グランプリ受賞アイデアの社会実装をFSC会員企業と共に目指すプロジェクトです。

▶ アワードの特長

大学生の創造力×企業のアセットをかけあわせ、福岡の未来を創るアワード

大学生なら誰でもエントリー可能 学部・学科は問いません。あなたが思う課題と解決のアイデアを自由にフォームに書いてください。	賞金はファイナリスト全員に グランプリ(1組)には15万円、グランプリ以外のファイナリスト(4組)には賞金5万円を授与します。	メンターとアイデアを磨ける メンターとアイデアを磨けるFSCの会員企業のメンターが、ファイナリスト(5組)と一緒にアイデアのブラッシュアップを行います。	社会実装を目指す アイデアの有用性が認められた場合、FSC会員企業にて社会実装を目指します。 ※権利関係の注意事項は「参加規約」をご確認ください。	九州を代表する異業種のリーダーたちがバックアップ あなたのアイデアと一緒に磨くのは、九州を代表するインフラ・交通・不動産・金融・IT企業の第一線で活躍するリーダー達です。
--	--	---	--	--

特設サイト: <https://fukuoka.smartcity-community.jp/award/202107/>

▶ 結果進捗

エントリーされた応募アイデアは実に60件に上りました。一次審査を通過したファイナリスト5組は、プロジェクト参画企業と共に約3週間のブラッシュアップミーティングでアイデアの磨き上げを行い、同年11月17日の本大会にてグランプリが決定しました。グランプリを受賞したチームは、現在FSC会員企業と共に社会実装に向けて検討を重ねています。

FUKUOKA SMART CITY AWARD の流れ



※ブラッシュアップミーティングの様子

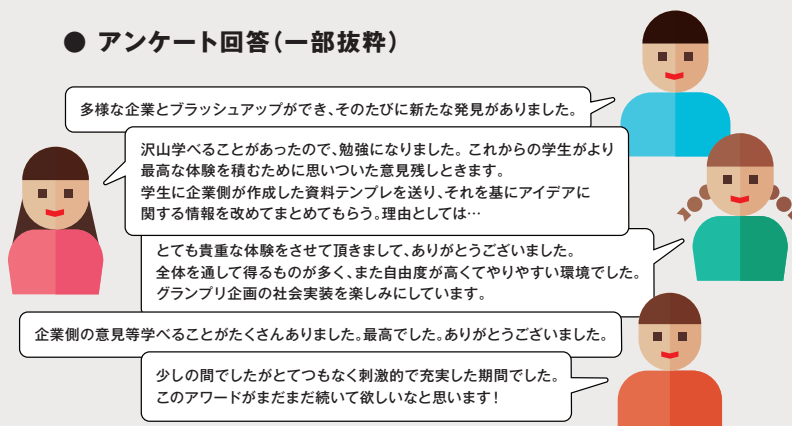
参加者の声

● FSCアワード全体についての満足度

大変満足 満足 どちらともいえない
やや不満 とても不満



● アンケート回答(一部抜粋)



本大会後にファイナリストに向けて実施したアンケートでは、全体満足度 100%の結果となりました。特にブラッシュアップミーティングの評価が高く、「新たな発見があった」などの意見を数多くいただきました。また、次回に向けた改善点などの前向きで積極的な声も見られ、「市民と一緒に創る」企画を体現できたと総括しています。

▶ グランプリアイデアについて

あなた ×

エシカル消費

サステナブルを日常に
私たちが考え、応援する世の中に

グランプリを受賞したのはエシカル消費をテーマにしたアイデア。このチームは既に個人でワークショップを実施するなどの実績があり、その熱意やスピード感と、FSC会員企業と一緒に取り組むことによる規模拡大の可能性が評価され、グランプリに選ばれました。

<アイデア概要> ※本大会時点

- 使わなくなった化粧品を使用した、今までにない親子向けワークショップの開催(SDGs×遊び)
- 化粧品で絵を描いたり、キャンドルを作成して子どもが遊び、親御さんに使わなくなった物の新しい利用方法の提案や、動画を使って環境問題と化粧品の関係についてお伝えする



その他のファイナリストアイデア

あなた × 防 犯

折り畳み防犯傘を用いた
事故犯罪の抑止

<アイデア概要> ※本大会時点

- ライト、GPS、ブザー、カメラがついた折り畳み傘
- 普及&PRで犯罪者側に「ライトのある傘には防犯機能がついている」と認識させ、犯罪自体を未然に抑止
- 福岡の犯罪(行政問題)をビジネスで解決する防犯傘
- 10億円以上の売り上げ見込み&ローテック→実現可能性高い
- 多数の文献&ユーザーインタビューに基づく説得力
- 傘を用いてモノでなくサービス(保険)を売る革新性



▲(左から順に)清瀬一志さん/岩附陽太さん/浜口晃治さん(共に九州大学)

あなた × 寄 付

ポケドネ
いつものくらしに、ちょっといいこと

<アイデア概要> ※本大会時点

●寄付機能がついた自動販売機を駅などに設置し、寄付をより身近にすることで寄付文化を根付かせることが狙いです。寄付によって特定の個人のものではなく、みんなのものというお金のあり方を作ることで人々の問題意識は向上し、街はレジリエンスの高い、しなやかな街になっていくと考えています。



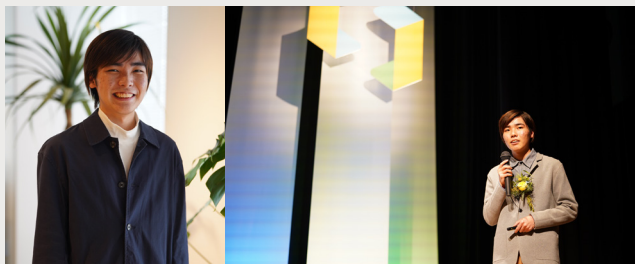
▲(左から順に)亀田敦也さん(慶応義塾大学)/金井太陽さん(千葉大学)

あなた × 観 光

福岡の魅力を広めよう。
福岡の魅力を見つけよう。

<アイデア概要> ※本大会時点

●私の提案する「たびマチ」は、旅行者とガイドをマッチングするサービスです。旅行したいけど福岡の地理に詳しい友達がない、ネットで調べるのが億劫な旅行者。そして自分が知っている福岡の魅力をみんなに伝えたいガイド。両者をマッチングできれば福岡の魅力をより深く、より広く伝えていくことができるのではないのでしょうか。ネットや旅行誌、そして大手ツアー旅行とも違う新たな旅行スタイルで、福岡を旅しませんか？



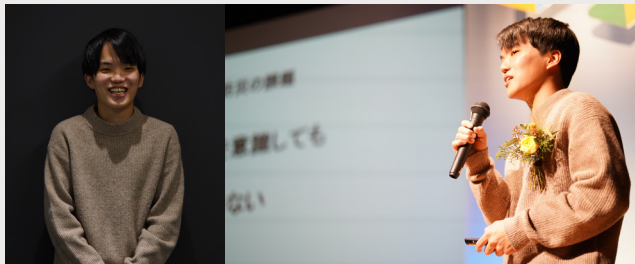
▲橋口創一さん(九州大学)

あなた × 防 災

「防災しよう！！」
「で、どうすればいい？」

<アイデア概要> ※本大会時点

●身の回りの物をカメラで写して地震発生時にどうなるかシミュレートし、連携するECサイトでグッズ購入まで可能なサービスです。特定の状況下での対策方法や防災グッズをカード化して家族や友人と簡単に共有することもできます。地震を体験したことがない人、特に若者世代の、地震の対策を意識しても具体的な行動に結びつかない人のためのアイデアです。



▲中山舜平さん(福岡デザイン&テクノロジー専門学校)

その他の共創プロジェクト

■「マリンワールド海の中道」内レストラン「レイリー」の「LINEで順番待ち」サービス

FSC会員：西日本鉄道株式会社／株式会社海の中道海洋生態科学館／LINE Fukuoka株式会社※1 2021年4月20日～※2

※1 FSC会員：西日本鉄道株式会社、LINE Fukuoka株式会社 ※2 2021年10月15日～「マリンワールド海の中道」LINE公式アカウントと連携



▲「マリンワールド海の中道」内レストラン「レイリー」

● 利用者アンケート回答（一部抜粋）

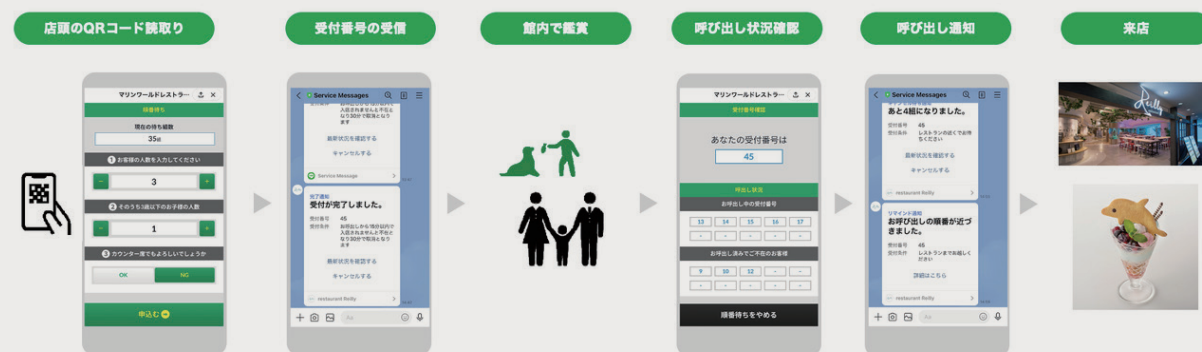
「コロナ禍の密集に抵抗感がある中、別の場所に居ても 予約・確認できるので、とても助かりました。また、子どもが待ち時間じっとしていられないので、待ち時間を有効活用できてよかったです。」(30代 福岡県女性)

「ずっとレストランの前で待ってなくていいので、混雑も避けられるし、子供たちも色んな所見ながら待てたので、あっという間に順番が来た感じで良かったです。」(40代 福岡県女性)

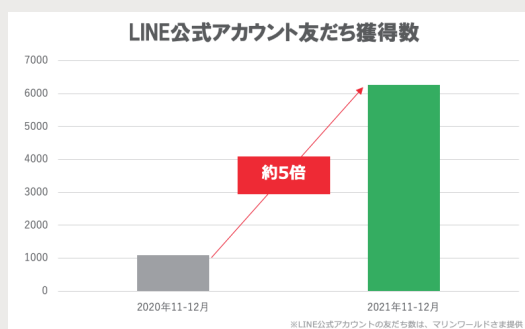
「わかりやすかった!LINE ができるのがよかった登録も 簡単で、順番待ちの状況もわかりやすい。」(20代 福岡県女性)



「マリンワールド海の中道」内レストラン「レイリー」は、繁忙期には1時間を超える入店までの待ち行列が発生し、レストラン周辺も大変混雑していました。そこで、2021年4月20日よりLINE ミニアプリの順番待ちサービスを導入しました。LINEを使用して順番待ちの予約をすると、自分の順番になったタイミングでLINEに通知が来る仕組みです。このサービスの導入により、これまで来館者が行列に並んでいた時間を館内を回遊する時間に変えることができ、多くの方々に利用されています。



▲「LINEで順番待ち」ミニアプリ利用の流れ



▲2020年11～12月と2021年11～12月の新規友だち数の比較

そして、同年10月15日からはこのサービスと「マリンワールド海の中道」LINE公式アカウントとの連携をスタートさせました。来館者に対してよりスムーズにLINE公式アカウントを案内できるようになり(※)、新規の友だち数も前年比で約5倍になったほか、レストラン利用者(順番待ちをした方)などに合わせたキャンペーン案内などが可能になり、より多くのファンの獲得と顧客体験の向上を見込んでいます。

※ユーザーが「LINEで番待ち」ミニアプリを初めて利用した際にLINE公式アカウントの友だち追加を促す仕組み

定例での活動について



※写真はイメージです

▶全体会議(毎月1回)

会員企業の担当者全員が一堂に会する全体会議を毎月1回実施。各社のアセットや知見を共有しながら、注力テーマに沿った企画や具体的な施策案についてディスカッションを行なっています。

10～12月期には以下の日程にて実施しました。

● 10月7日(木) ● 11月4日(木) ● 12月2日(木)

▶「プロジェクトF」

毎月の全体会議にて、各社持ち寄りで知見を共有するプロジェクト。テーマは各社自由。

10～12月期には以下の企業が発表を行いました。

- 10月：西日本フィナンシャルホールディングス「最新の取り組みについて」
- 11月：LINE Fukuoka株式会社「横展開の取り組みについて」
- 12月：福岡国際空港株式会社「コロナ禍に於ける福岡空港の取り組み」

市民を取り巻く環境が目まぐるしく変化する昨今において、課題解決を行うための鍵は、「0→1で何か新しいサービスを創り上げていくこと」よりも、会員企業が持つ「既存のアセットやデータを有効活用し、スピード重視でアウトプットしていくこと」であると考えています。今後もFSCでは、強固な協力体制で自然災害や感染症への対応レベルとスピードを上げ、レジリエンスの高いまちづくりを行ってまいります。

〈Fukuoka Smart City Community 概要〉

名称／Fukuoka Smart City Community

事務局所在地／福岡県福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP 博多ビル 12F

設立日／2020年10月14日

主な事業内容／市民参加型のスマートシティの実現に向けた、情報収集、情報共有、相談、イベント開催、サービス提供・開発及びPRの機会の提供

サイト／<https://fukuoka.smartcity-community.jp>